

## 5. 教員の国際的活動

### 1) 協定校との交流活動

#### (1) 弘光科技大学との活動

弘光科技大学とは、前年より継続して看護学部教員との情報交換を継続した。この連携を背景として、令和2年研究科主催の特別講義の企画に際しては、著名な看護学者である元看護学部長、現主任教授である Yann-Fen C. Chao 教授に講演をご快諾いただき、他に例をみない先進的な対策で COVID-19 の制圧に成功した台湾の事例について紹介し、好評を博した。

#### (2) インドネシアガジャマダ大学における活動

ガジャマダ大学の Dr. Elsi Dwi Hapsari 氏らと「Antenatal class with multidiscipline approach to Indonesian pregnant women」というテーマで研究を進めていくために、2020年3月に現地を視察し、具体的な研究計画を練る予定であったが、新型コロナウイルスの拡大による活動自粛のため渡航を取りやめた。その後も、交流活動は一時中断しているが、今後のプログラム開発に先立ち、ガジャマダ大学の学生が「Disaster preparedness for pregnant women」と「Evaluation of the satisfaction of prenatal class by pregnant women」についての測定尺度を作成し、妥当性と信頼性のテストを WEB 調査により実施したという報告があった。

#### (3) アンダラス大学との活動

令和2年度に共同災害看護学専攻博士課程（DNGL）を修了したハストロ氏がアンダラス大学に教員として就職した。就職後も、現地の状況等について情報交換を行った。